

保健医療計画進捗状況評価における「地域医療構想」評価指標（病床稼働率）の訂正について

1 訂正理由及び訂正の範囲

	訂正理由	訂正の範囲
1	【使用数値（在棟患者延べ数）の定義の誤認】 病床機能報告「在棟患者延べ数」は、（毎日24時現在の在棟患者+退棟患者）であるにもかかわらず、「退棟患者」が含まれていないと誤認し、「在棟患者延べ数」に「退棟患者」を加算し算出していた。	計画策定時から 計画3年目（令和3年度）まで
2	【算定除外対象の誤認】 病院別に算出した病床稼働率が30%未満である病院の病棟データを除外して算出すべきところ、病棟別に算出した病床稼働率が30%未満である病棟データを除外し算出していた。	計画1年目（令和元年度）から 計画3年目（令和3年度）まで

2 「病床稼働率」正誤表

機能		計画策定時	進捗状況評価		
		〔 H28年度病床機能報告 H27.7.1～H28.6.30 〕	1年目 〔 H30年度病床機能報告 H29.7.1～H30.6.30 〕	2年目 〔 R1年度病床機能報告 H30.7.1～R1.6.30 〕	3年目 〔 R2年度病床機能報告 R1.7.1～R2.6.30 〕
高度急性期	正	80.5%	78.3%	81.3%	85.0%
	誤	88.1%	86.5%	88.9%	92.2%
急性期	正	76.4%	78.3%	76.3%	73.3%
	誤	82.3%	85.2%	83.6%	80.6%
回復期	正	84.5%	83.8%	84.8%	83.2%
	誤	88.4%	88.2%	88.6%	86.3%
慢性期	正	89.1%	91.1%	88.5%	94.0%
	誤	89.8%	93.1%	90.7%	96.5%

【参考】

病床機能報告「在棟患者延べ数」の定義（「病床機能報告様式記入要領」より抜粋）

- 毎日24時現在で当該病棟に在棟していた患者の延べ数
- ただし、退院日は在棟患者延べ数に含める。
- 当該病棟に入院した日に退院又は死亡した患者は含める。
- 他の病棟に転棟した場合、転棟した日は転棟前の病棟における入院として在棟患者延べ数に計上する。
（転棟先の病棟では、転棟日は在棟患者延べ数に含めない。）

保健医療計画 進捗状況評価「病床稼働率」の算出方法

【算出対象】

- ・ 病床機能報告「病棟票（病院）」で報告されたデータ（島しょの病院のデータを除く。）
- ・ 病院別に算出した病床稼働率が30%未満である病院の病棟データは、異常値として算出対象から除外

【計算式】

$$\text{病床稼働率 (\%)} = \frac{\text{在棟患者延べ数}}{\text{許可病床数} \times \text{年間日数}} \times 100$$

$$\text{(訂正前) 病床稼働率 (\%)} = \frac{(\text{在棟患者延べ数} + \text{退棟患者数} - \text{院内の他病棟への転棟患者数})}{\text{許可病床数} \times \text{年間日数}} \times 100$$